



羽北っ子

7

羽北っ子スポーツフェスティバル大成功！

「できるかな…」朝方、雨で心配された天気でしたが、開始の時間には、青空が見えるくらいになりました。子どもたちの「羽北っ子スポーツフェスティバルをやりたい！」という願いを叶えてくれたのだと感じました。

～児童会長の言葉～

「みなさん、おはようございます。今年度は新型コロナウイルスの影響で、1学期いろいろな行事が無くなったり変更になったりしました。4月から5月ずっと休みで家にいたときは、本当につらかったです。5月30日に予定されていた運動会も中止になりました。悲しかったです。でも今日、スポーツフェスティバルという形で行うことができることになりました。この会を実現して下さった先生方、そして平日にもかかわらず応援しに来て下さったお家の方々に感謝します。このスポーツフェスティバルは『勝敗に関係なく、みんなでスポーツを楽しもう』がコンセプトです。みんなで思いっきり楽しみましょう。それでは、羽北っ子スポーツフェスティバルの開催を宣言します！」

児童会長の言葉でオープニングとなり、応援団長の呼びかけで全校児童が校庭に飛び出しました！



全力尽くして走りぬいたかけっこ・短距離走、全員で力を合わせてバトンをつないだ低学年・高学年それぞれのリレー、楽しい中に真剣さがある“満水リレー”ぶっつけ本番の“綱引き”見応え十分の“玉入れ” 全員の心を一つにまとめ、ノリノリで楽しく踊った“タタロチカ”など、それぞれに光る工夫がたくさんスポーツフェスティバルでした。

このスポーツフェスティバルの開催の趣旨に賛同してご協力をしてくださった来賓・地域の皆様、子どもたちを盛り上げ、活躍する姿を応援してくださったすべての皆様に感謝いたします。

育ちの森(秋)が行われました

9月15日(水)に秋の「育ちの森」の活動が行われました。素晴らしい天気恵まれ、青空の下、子どもたちは全身で地域の自然と触れ合うことができました。この日は、主に“たてわり班”での活動です。子どもたちは、各班の6年生が企画したフィールドワークと作業に取り組みました。作業の時間帯、高学年は巣箱の取り外しと新しい巣箱の取り付けを、低学年はのこぎりで木を切ってコースターを作ったあと、ドライバーを使ってみ



んなの息をそろえながら檜の皮を剥ぐ活動を行いました。巣箱の中には今年もたくさんの鳥の巣が見つかりました。卵が入っている巣箱もあり驚きの声があがりました。新しい巣箱をかけたので、来年もたくさんの鳥が育ちの森にやってきてくれることに期待したいです。コースター作りや檜の皮剥ぎでは、お気に入りのコースターを作ったり、檜のいい香りを感じながら息を合わせて皮を剥いだりしました。また、今年、“学校林活動促進事業の補助”で全校に配られたヘルメットをつけ、安全に活動することができました。



今年もボランティアさんが大勢参加してくれました。子どもたちがケガをしないようにと、丁寧に補助をしてくださいました。教えていただくだけでなく、一緒に活動することで、今までより一段と深く関わることができました。ありがとうございました。

＊＊お知らせ＊＊

<あいさつ道路(春日街道)開通に関わって>

保育園下の春日街道(あいさつ道路)の工事が終盤に差しかかり、11月27日(金)の開通式を目指して最終工事が進められています。開通式後は、教育委員会をはじめ、地域、伊那道路建設事務所、警察等、関係各所の皆様のご尽力でできた「大きな歩道」や、保育園下に付く「信号」を使って登下校する通学路に変更となります。この件に関しては、11月27日(金)の開通式までに、支部長・校外指導部の皆様のご協力をいただきながら新しい通学路を確認し、各地区に連絡する予定です。羽場の子供たちは、登下校時に郵便局の横から西天竜沿いまで歩く間にあいさつ道路を横断するため、渡るときの安全が心配されましたが、これまでの期間、ご家庭や安全ボランティアの皆様、地域の皆様の安全指導のご協力により無事に登下校をすることができています。信号を使う通学路に変更となるまで、学校でも引き続き、横断の際に必ず立ち止まって安全確認してから渡るように指導しますが、関係の皆様もこれまでと同様にご指導の程よろしくお願ひします。

<校内音楽会に関わって>

新型コロナウイルス拡大防止の影響により例年通りに開催することができませんが、今できる内容を厳選した「校内音楽会」を予定しています。詳細は別紙を配付いたしますので、そちらをご覧ください。

<非違行為防止に関わる研修>

9月23日(水)に、伊那警察署生活安全課スクールサポーターの唐澤高弘様をお招きして、職員を対象とした非違行為防止研修会を実施いたしました。また、PTA副会長の宮原治様にもご出席いただき、本校の取り組みについての感想と助言をいただきました。

唐澤様からは、最近県内で発生した非違行為事案をはじめ、教職員の不祥事の具体的な事例についてお話いただき、未然に防止するための心構えや同僚としての心配りなど教育公務員として職務を遂行する上で心に留めておくべきことを再確認いたしました。

PTA副会長の宮原様からは、SNS等メディア環境が複雑になり、指導する側にも難しい時代だと感じると感想をいただきました。また、職員でこうした研修を定期的に取り組んでいることを評価していただきました。

職員一同再度気を引き締める機会となりました。

本校では年間を通して、職員研修を実施したり外部の方の講演やご指導をいただいたりしながら非違行為防止に向けて取り組んでおります。大切なお子さんを安全に預かるため、今後も引き続き研修に励んでまいります。



(文責 教頭 小林 裕子)